

(参考)「みちづくり計画」(H28~H37)の概要

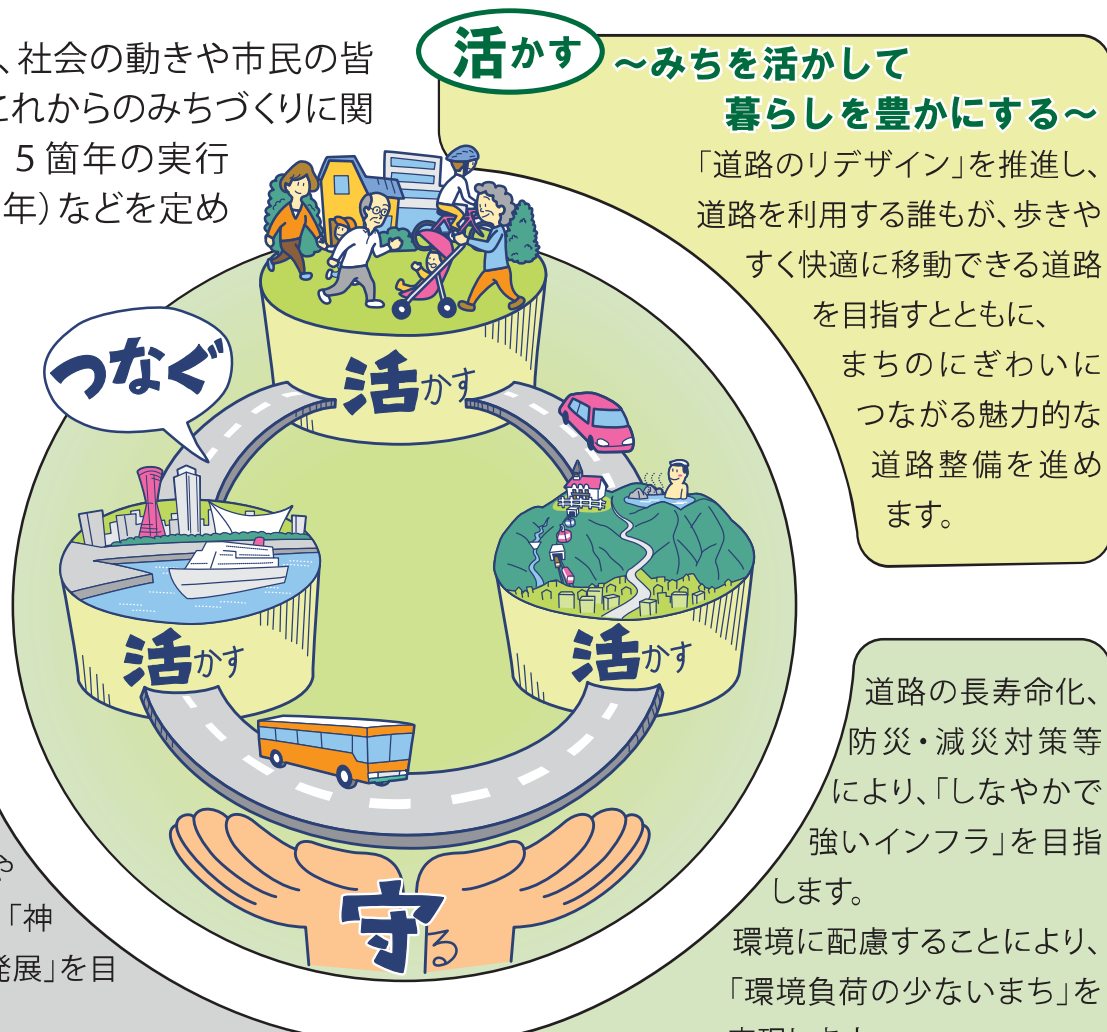
みちづくり計画は、社会の動きや市民の皆さんの声を反映し、これからのみちづくりに関する方向性や内容、5箇年の実行計画(目標年次H32年)などを定めたものです。

この中で、市内を5つの地域に分け、現状や課題、施策をとりまとめましたのでお知らせいたします。

道路ネットワークの形成や渋滞対策等により、「ひと、モノの流れを創出」、「雇用の創出や地域経済の活性化」、「神戸・関西の持続的な発展」を目指します。

つなぐ ~地域をつなぎ 経済を支える~

守る ~災害に備える・環境に配慮する~



活かす ~みちを活かして 暮らしを豊かにする~

「道路のリデザイン」を推進し、道路を利用する誰もが、歩きやすく快適に移動できる道路を目指すとともに、まちのにぎわいにつながる魅力的な道路整備を進めます。

道路の長寿命化、防災・減災対策等により、「しなやかで強いインフラ」を目指します。環境に配慮することにより、「環境負荷の少ないまち」を実現します。

今後の須磨・垂水のみちづくり (案)

「みちづくりミニニュース」 No.1-3

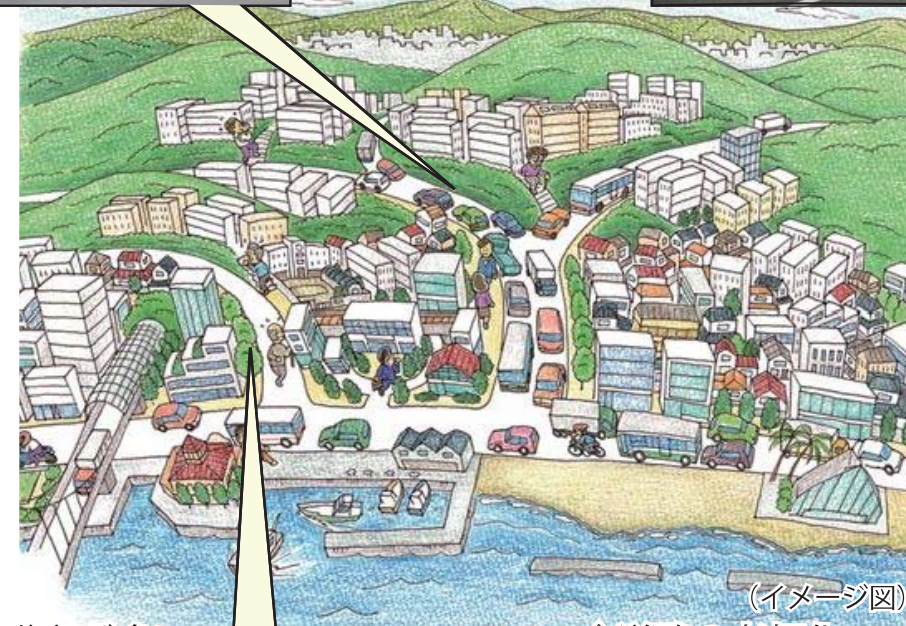
何気なく使っている「みち」について、市民の皆さんに現状や課題、施策を知っていただき、市民と行政がともに考え、「活かす」、「つなぐ」、「守る」の3つの柱を基に、つくり、まもり、育て、次の世代に引き継いでいくみちづくりを進めていきます。

主な現状と課題

◇ 渋滞が発生している (例：小束山6丁目交差点)



◇ 道路ネットワークが未整備 (例：須磨多間線)



◇ 急な坂道や階段が多い



◇ 道路の老朽化



⇒ これらの課題に対し、次頁に取り組む内容を紹介しています。

詳しくは、ホームページからご覧いただけます!!

神戸市 みちづくり計画

お問合せ先

神戸市建設局道路部計画課 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL 078-322-5387 E-mail road-planning@office.city.kobe.lg.jp

平成29年〇月発行
神戸市建設局道路部計画課

神戸市広報印刷物登録
平成29年度 第〇号(広報印刷物規格B-1類)



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

須磨・垂水の「みち」はどう変わる？

つなぐ

1. 渋滞の改善

自動車需要の増加や道路ネットワークが未整備であることによる渋滞への対策を行います。

■須磨・垂水における渋滞の原因について

- ・舞多間周辺の開発等による自動車需要の増加
- ・須磨・垂水を南北につなぐ道路ネットワークが未整備 など



■取り組み例

- ・小東山6丁目交差点の交差点改良
- ・道路ネットワークの整備
(須磨多間線、垂水妙法寺線など)



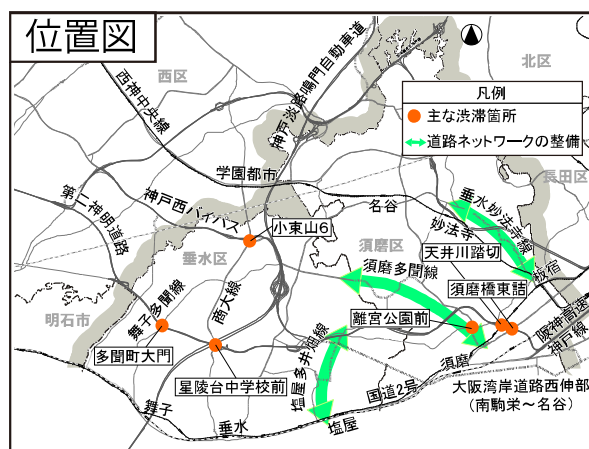
■期待される効果

- ・目的地までの移動時間が短縮され、気軽に外出できる
- ・ひと、モノの流れが良くなり、地域経済が活性化する
- ・渋滞解消による環境負荷の軽減 など

(1) 渋滞対策の実施



(2) 道路ネットワークの整備



活かす

2. 丘陵地における歩きやすいみち

「買い物も坂道が大変」、「歩道がガタガタで歩きにくい」といったご要望から、ベンチの設置や歩道の波打ち解消を行います。

■取り組み例

- ・ベンチ、スロープの設置
- ・歩道の段差解消、波打ち歩道の解消
- ・バリアフリー道路特定事業 など

■期待される効果

- ・高齢者等が気軽に外出できる
- ・ベビーカー等での移動が容易になる など

(1) ベンチや手すりの設置



(2) 歩道の波打ち解消



守る

3. 橋梁や舗装補修等の実施

老朽化した道路の補修を行います。



<その他の施策>

活かす

- 「交通安全総点検など」
- ・須磨区(西須磨小)、垂水区(東垂水小)

活かす

- 「自転車走行空間のネットワーク化」
- ・神戸明石線、名谷環状線、舞子多間線(JR 交差部) など